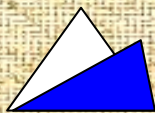


会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟



三島野スポーツクラブ

No. 272

2023年5月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



聖山（長野市／麻績村）

小木清画

5月・6月企画案内

5月

○10日(水) 立山2企画

雄山山頂登山 or 雪の大谷 室堂散策

○28日(日) 高落場山

6月

○4日(日) クリーンハイク 小佐波御前山

○11日(日) 登山セミナー

○24日(土) 日野山

山行報告

◇ 角田山 3/25

◇ 宮崎城跡 4/8

緊急時の連絡体制をつくりました

富山県の変った名前の山



# 5/10 (水) 陽春の立山

春の陽ざしを受けて輝く白銀の北アルプス・立山を楽しむ、春山入門企画です。二つのプランを企画しました。

## 【Aプラン】雄山山頂コース

室堂から一ノ越へ、そして、岩と雪の急登を 3003m雄山に登ります。

標高差 550m 登り 3時間 下り 2時間 体力度★★☆☆☆ 技術度★★★★☆☆

## 【Bプラン】雪の大谷と室堂平散策 ※一の越まで登る計画でしたが散策のみとします

室堂・みくりが池周辺（みくりが池温泉に入浴）散策 約 2時間

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

## 【参加申込】4月30日まで

Aプランは的場邦夫 SMS 090-4320-5325 へ

Bプランは堀井泰則 SMS 090-1314-6394 へ

## 【装 備】

雪山の装備（ウェアー、手袋、帽子、サングラス、等）  
温飲料、ストック、アイゼン、ピッケル〈山頂〉

装備などの相談は〈L〉に遠慮なく問合せください。

室堂から雄山を仰ぐ



# 5/28 (日) 高落場山 1122m 南砺市

砺波平野と五箇山の谷を隔てる山並みのひとつ。新緑のブナの原生林を歩きます。

【集合・出発】薬勝寺池 P 6時 30分

## 【行程】

縄ヶ池 → 草沼山 → 高落場山

を往復します L:塚 良昭

単純標高差 350m 歩行時間 約 4時間

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

## 【参加申込】

5月18日まで塚 良昭へ

SMS 080-8033-7427



6/4 (日) 登山全国いっせいクリーンハイク

# 小佐波御前山

おざなみごぜんやま

754m 富山市 (旧大沢野町/大山町)

富山平野と神通峡 展望の山

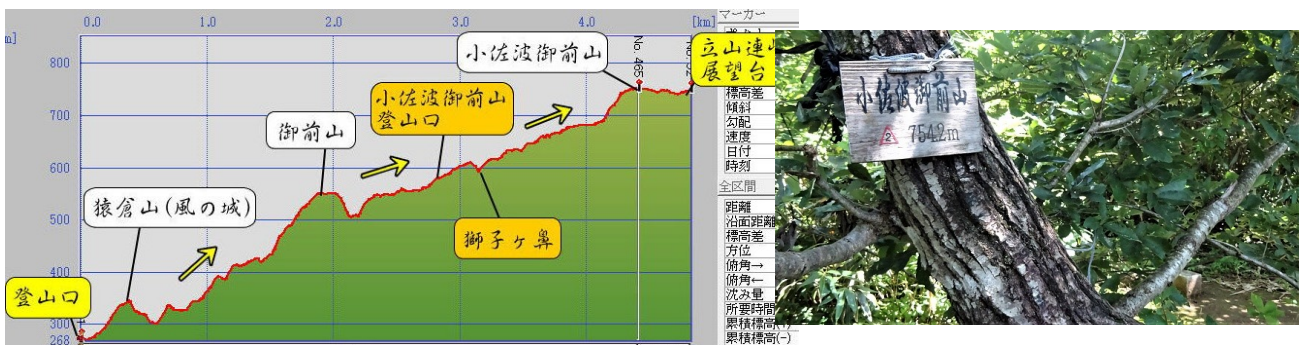
【集合出発】薬勝寺池 P 8 時 00 分

【行程】

猿倉山森林駐車場 猿倉山 御前山 小佐波御前山 下山は登山路を下る

L:荒井英治 標高差 650m 登り 2 時間 30 分 下り 2 時間 体力度・技術度とも★☆☆☆☆

【参加申込】 5 月 25 日まで荒井英治まで SMS 080-8695-6639 へ



## 臨時企画案内

# 6/24(土) 日野山

福井県 越前町/南越前町  
ひのさん 795m

6 月企画が少なく寂しいと…。世話人会は「臨時企画」として提案します。  
季節は初夏。クラブ初めての山、北陸越前の深緑の山を味わってみましょう。

福井県越前市と南越前町の境に位置する日野山は、718 年に高僧泰澄大師によって開かれたといわれている山です。山岳信仰の霊山であり、山頂に日野神社の奥宮があります。山の姿が大変美しく、古くは紫式部、松平春嶽や与謝野晶子も歌に詠んでいます。

標高は 795m です。山頂からはお天気がよければ、越前市や鯖江市が一望できるほか、日本海や霊峰白山、太平山や御嶽山等が見えます。中部北陸自然歩道として登山が楽しめ、コースが 3 つほどありますが、約 2~3 時間で山頂まで行くことができます。

【行程】

越前町日野神社 → 日野山 往復  
標高差 727m 登り 2 時間 30 分 下り 2 時間  
体力度・技術度とも★★☆☆☆

詳細な案内は次号会報No.273 に記載します。



# 安全登山のための 登山セミナー

主催 労山富山県連盟

## 多くの会員の参加をお願いします

世話人会ではこのセミナーを、会員必須の企画として位置づけて呼びかけることを確認しました。

登山・ハイキングを楽しむためには『無事に下山すること』が前提です。事故や遭難に遇ったら、それまでの美しい草花や絶景の感動は吹き飛んでしまいます。

安全登山のための「心技体」を得るための一つは“学ぶこと”です。そして、豊かな登山文化を紡いでいきましょう！

### ◇ 6月11日(日) 9時～

(粟勝寺池 P8時00分集合出発としますが、現地へ直行も可とします。また、交通費、諸費用はクラブで負担します)

#### ◇ セミナーの内容

〈午前9時～12時〉

立山駅裏の真川堤防で三点支持登攀訓練とロープワーク

〈午後1時から3時〉

極楽坂山に移動し、読図とロープワーク練習

【参加申込】

6月1日までの場邦夫 SMS 090-4320-5325 へ



過去の訓練風景

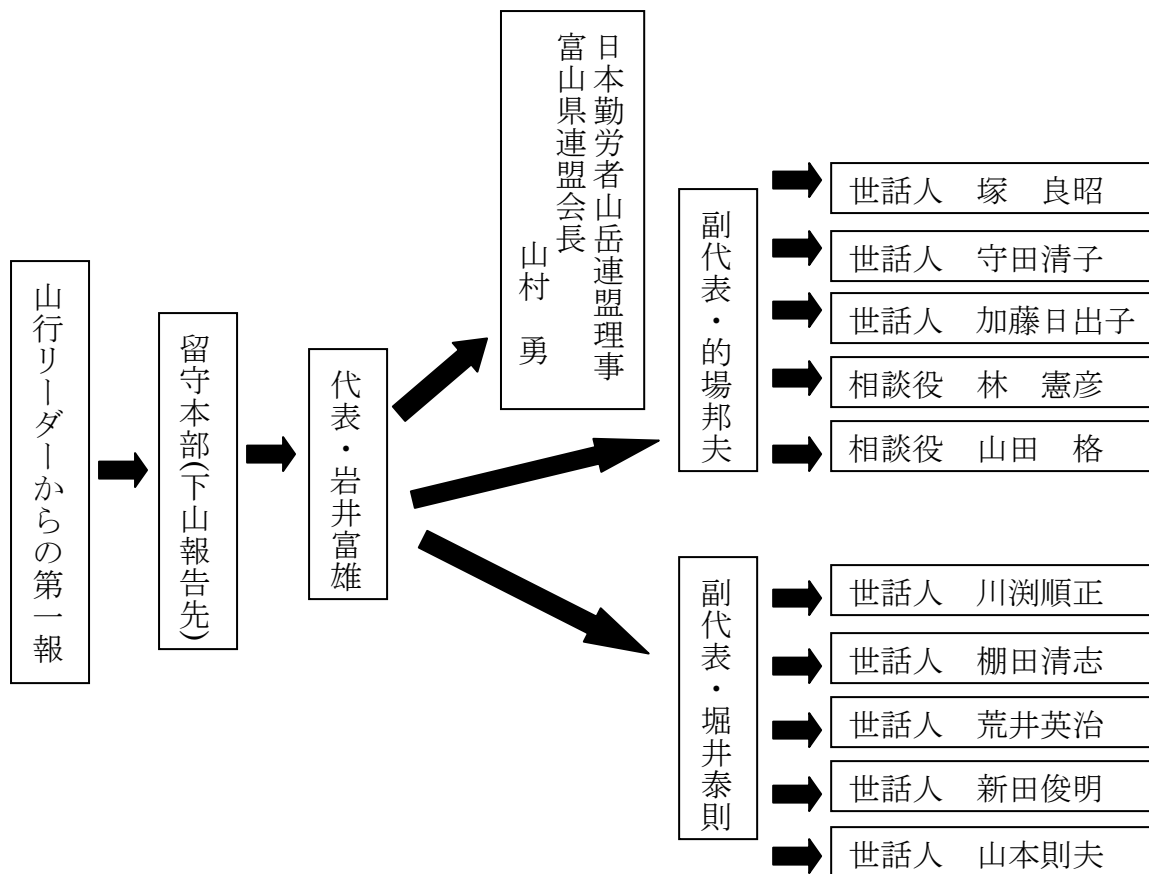


# 三島野スポーツクラブの緊急連絡体制をつくりました

私たち三島野スポーツクラブは創立以来 25 年間、日本アルプスから県内・近隣の里山まで 630 回を超える登山・ハイキングを実施してきました。幸いにも、一度も遭難や大きな事故を起こすことなく今日まで活動してきました。

しかし、万が一の遭難・事故が発生した時の対応や連絡体制がないことが指摘され、世話人会メンバー内の連絡体制を作りました。

遭難や事故の直接対応は山岳救助関係の方々によって行われますが、関係方面への連絡やできる範囲の必要な補助などを行いたいと思っています。



岩井 富雄	090-5177-9255	川渕 順正	090-1392-8631
堀井 泰則	090-1314-6394	棚田 清志	090-2036-1236
的場 邦夫	090-4320-5325	新田 俊明	090-8097-5223
塚 良昭	080-8033-7427	山本 則夫	080-1964-4053
荒井 英治	080-8695-6639	林 憲彦	090-8099-2954
山田 格	090-4320-0802	守田 清子	090-1319-5341
加藤日出子	090-3885-2844	山村 勇	090-2032-4273



メンバー (L)堀井泰則(写真) 的場邦夫、塚 良昭、川渕順正、草 進、  
林 憲彦、今村和子、石黒洋子、浦 幸江

## 【行程記録】

薬勝寺 P5 : 30 出発  
登山口出発 9 : 10 (桜尾根コース)  
角田山頂上 11 : 20 着  
観音堂 11 : 30 着 昼食  
観音堂出発 12 : 05  
角田山着 12 : 15 記念写真撮影  
分岐 12 : 33  
灯台着 14 : 20  
登山口駐車場 14 : 35  
薬勝寺 P18 : 35



## ひとくち感想

- 石 黒** : ユキワリソウに会えるのをとても楽しみにしていた角田山、天気大丈夫で一安心。桜尾根コースにはユキワリソウ、灯台コースにはカタクリの群生。朝は花が閉じ気味でしたが、昼過ぎからは開いている姿を見ることができました。薄い青や紫、ピンク、微妙に色が違い、可憐でした。笹の間の小道、両側にカタクリいっぱい的小道、ガレ場と変化に富んだ道を歩く事ができました。夕方、ヤママップを見ると沢山の人が公開していて、写真のとり方が上手だなと思いました。天気の良い時には、海のブルーと白の灯台がとても映え、さらに夕日も素晴らしいようです。遠いのでなかなか行けない場所ですが、三島野クラブの皆さんと行けて良かったです。ありがとうございました。
- 堀 井** : 駐車場の車の多さにビックリ。登りの桜尾根コースの雪割草とカタクリの群生、そして、下り灯台コースの海に向かって降りるコースは軽登山の楽しさが満載。後半は天候も良くなって楽しい山行でした。
- 的 場** : 雪割草は朝早くだったので控え目に咲いていた！カタクリも午前中はあまり開いていなかった！が灯台コースへ降りて行くとかなり開いていました！すっきりとした青空とまではならなかったがまずまずでした！斜面も、花でいっぱいでした。日が差すと、カタクリの花がひらきはじめ、とても可愛らしく感じました。
- 草** : 車の多さに期待を膨らませて、細尾根のそばに咲きほこる、雪割草、カタクリ、身体を心地よく休めてくれる海風、改めて眺めれば素晴らしい海岸線の眺望に充実しての山歩きが楽しめて、しぶとく登った角田山でした。
- 塚** : 角田山駐車場に着くと、あまりの人の多さにビックリしました。流石に新潟の花の名山、四方八方からの登山道があり人気の山だ。登りは桜尾根コースからで、途中から紫や白や色とりどりの雪割草が迎えてくれる。後半は斜面一面のカタクリの群生が圧巻でした。山頂は広く大勢の人が休憩している。三島野は少し先の観音堂で昼食にする。下山は灯台コースでやはりカタクリの群生の中を下る。急斜面あり岩場ありアップダウンありで変化に富んでいて、また灯台と海を眺めながらのコースが素晴らしかった。

**林** : 齢、80 になってから登山の度に「もう登山を止めろ！」といつ引導を渡されるか心配しながら参加し、皆さんに助けられたり励まして貰いなんとか下山できました。登山道の傍らに咲き誇るカタクリや雪割草が疲れを癒してくれました。帰りの車中、高齢者ばかりの男でいろいろ人生の参考になる話題で盛り上がり、これも山行の良いおまけになったと思います

**川 淵** : 雪もすっかり解け暖かくなってきたこの季節、ここ角田山に沢山の登山客が来ていた。17 コース中、登りは「桜尾根コース」、下りは「灯台コース」は良い選択だったと思います。お陰様で色とりどりの可憐な雪割草と、カタクリの花の群生に立ち会えました。感激。また昼食は見晴らしの無い角田山山頂ではなく、少し下がった「観音堂広場」だった。ここは視界が開け、広大な越後平野を見渡しながらの食事は、何とも晴れ晴れ気分。下りへの「灯台コース」はごつごつしたガレ場やアップダウンもある変化に富んだ道。清楚な藪椿が咲く小道を抜けると、日本海に突き出した角田岬の灯台を見下ろす絶景スポットが…。正に一幅の絵画です。そしてここから一気に海拔ゼロメートルの角田浜、汀に降りることも他の山には無い圧巻でした。開花見頃を逃さなかった、素晴らしい企画に参加できて感謝です。

**浦** : 角田山の花々に心が癒されました。登りはじめに、この山が雪割草でものすごく有名な山だということを知らないのかと呆れられました。途中で白いカタクリが2株あることを耳にしました。たくさんの雪割草を見て優しい気持ちになり、群生するカタクリが日光を浴びて花開く様を見て元気をもらいました。そして、白カタクリも2株見ることができました。自分の体力に自信をもちたい、もっともっと素敵な景色に会いたくなりました。

**今 村** : 角田山は、人気の山らしく、たくさんの方が登っていました。カタクリの花、ユキワリソウ、シヨウジョバカマ、カンスゲ、スマレなどなど、山路も、山の斜面も、花でいっぱい日差しと、カタクリの花がひらきはじめ、とても可愛らしく感じました。



上・雪割草

下・カタクリの白花



桜尾根を登る



灯台コースを下る





メンバー；〈L〉 的場邦夫、〈写真〉 塚 良昭、仲西雅子、上田千秋、草 進、浦 幸江

## 【行程記録】

9:27 薬勝寺池 P 出発  
 9:15 朝日インター  
 10:00 城山駐車場着→散策開始  
 10:40 城山駐車場出発  
 11:05 栄食堂にてタラ汁を食す  
 12:00 出発  
 13:30 薬勝寺池 P 着

## ひとくち感想



**的 場**： 当初の計画書どおりにはいかず、登山口の鹿島樹叢の神社について準備していたら雨嵐になり車の中に逃げ込み協議して車で城跡の駐車場迄行くことにした。そこから本丸まで歩き雨の中景色を見た。それでも麓まで（海）見えた。帰りに四重奏を見学に寄り道したら、ここでも雨嵐に遭う。仕方なく車窓から見学した。薬勝寺に着いたら晴れていた。登山あるあるの1日でした。

**仲 西**： 薬勝寺駐車場では曇り空。雲行きが怪しく目的に近づくと雨が降り始め計画を変更し城山公園内を散策しました。雨空でしたが眼下には富山湾も見え「眺望がいいところだなあ。晴れた時にもう一度リベンジしたいな」と思いました。お昼のたら汁はとっても美味しかったです。

**草**： 海からの暴風雨、やみそうもなく車で宮崎城跡へ、蒔き散る桜の花の風情を感じながら城跡散策、山頂からの見晴らしに見惚れながら、帰りはたら汁に温まり、4重奏をそこそこに見学し、満足満足の山旅でした。

**上 田**： 集合時は曇り空。お天気を心配しながらの出発でした。駐車場に車を止めた時突風と雨でやむをえず城址駐車場まで車で登りそこから頂上まで散策。桜は満開を過ぎていて散った花びらの道を歩くのは素敵でした。石垣の上の頂上からは雨は降ってはいたものの富山湾から親不知まで見渡せ良かったです。帰りの舟川「春の四重奏」散策も雨風で車窓からの眺めになりました。一面の菜の花の黄色が映えていました。春の嵐の1日でしたが昼食は予定外の栄食堂でたら汁も堪能でき大満足です。

**塚**： 生憎の雨風模様でしたが、宮崎城跡からは周りの山や海岸線を眺めることが出来ました。晴れていれば最高の景色を楽しめたと思います。もう一度来たいなあ・・・何年ぶりかで食べた鱈汁は、身体が温まり美味しかった。

**浦**： 天気予報通りの空模様。だんだん雨が強くなり、風も吹いている中、状況に合わせてコースを決めて行動していく男性陣。頼もしかったです。桜はもう終わりで、寂しく思いました。地面に落ちてピンクの模様を描き、枝に残る儂げな蕾、桜はどんな姿もいいなと思います。たら汁が最高に美味しかったです。雨の宮崎城跡とたら汁、よかったです。





今回は変わった名前の山を三つ紹介します。

1 番目な「ダイジロ山 263m」です。これは旧大山町の農業高校の敷地の中にあります。学校の門を通過して真っすぐに行き、突き当たると登山口があり案内板もあります。車は近くに駐車場があり、そこに停めてユックリ 1 時間もあれば、境界線に沿って一周するコース（1 等三角点）があり、道もしっかりしています。ただダイジロ山の謂われが付近の人に聞いてもわかりません。ハイキングを兼ねて訪ねてみたら如何でしょうか。



2 番目は「火燈山 (95m)」です。ヒトボシヤマと呼びます。これは小矢部市末友に在り、高速インター付近の石川県側にあります。末友のお寺の脇の道を高速道路の下を潜るとすぐです。藪山ですが 1 等三角点 94.5m の標識があり、県内 5 番目に低い山です。

3 番目は「貉峰 (477m)」です。ムジナミネといいます。旧八尾町上ノ名という、今では廃村となり地名だけのところを 5km ばかり南に行った所の藪の中に 477.2m の 1 等三角点があります。むかし、人を騙す化け物ムジナが棲んでいたといわれた怖いところだったそうです。ハイキングを兼ねて訪ねてはどうですか。景色のいいところですよ。

## 山小屋はどうなる？ 安全登山をこれからも…



右の新聞は 4 月に記載された北日本新聞の記事です。

『善意の登山道整備「限界」』の見出しが訴えているように、コロナ禍で感染防止の対策で、山小屋は宿泊人数制限や、開業日数の減少で運営のための資金が困難になり、手弁当で行っていた小屋周辺の登山道や、施設の保全ができないと山小屋関係者は悲鳴をあげている。

記事の中で国立公園の制度に詳しい北海道大学の愛甲准教授は、山小屋は遭難者の救助や飲料水の提供も行っているとした上で『社会の状況によって収益が変動する山小屋に登山環境の維持を任せっぱなしでいいのか』と問題提起している。山小屋運営の安定と、登山者の安全のために、国や公的機関がもっと積極的に手を差し伸べてもいいのではないかと思います。

当クラブは、今年から 3 年ぶりに山小屋利用の北アルプス縦走を企画している。安全・安心の登山を楽しむためにも。



## 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔相談役〕山田 格、林 憲彦                      〔監事〕草 進、浦 幸江

5月の世話人会開催は**5月9日(火)と23日(火)の午後2時から**、会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。ぜひ顔をだしてください。

会報編集担当です。会報に記載する原稿のは下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp)      甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは[http://sportstoyama.namaste.jp/99\\_blank.html](http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html)を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



## 編 集 後 記

- ・3月から気温が高い状態が続いて、桜の開花が例年より10日くらい早い。春が早く来て、夏も早く来て長く続き、冬の訪れが遅くなったら・・・山の日程計画も変わってくることになるかも。「お花見登山は2月～3月」とか。
- ・そんな季節巡りに合わせて、例年よりかなり早めにいそいそと山の「わがワラビ畑」へ。ウドも少々収穫して食卓にのっている。おかげで少々控えている飲み物が進んでしまった。
- ・コロナ感染対策が緩んで観光地はコロナ禍前の人出になるとか。立山も外国人が多く押し寄せてくる・・・ので立山日程を変えたのだが雪が例年より少ないとのこと。3000mの“陽春の北アルプス”を楽しみたいですね。
- ・「安全登山のためのセミナー」ぜひ多くの会員が参加されることを願っています。経験を重ねることも大切ですが、学ぶことによって経験が省かれることもあります。“転ばぬ先の杖”です。

